

# 山なみ

NO.5

## 31日間の夏休みが終わり…

校長 豊田 央

今年度は地球温暖化による猛暑の影響から北海道のほとんどの学校で30日以上、夏休みが設定されました。上富良野町においても、教育委員会と協議を行い、小中学校の夏休みは31日間としました。今年の夏休みは昨年と比べると、途中、涼しい日もありましたが、30℃を超える日がほとんどであり、9月上旬位までは暑さ対策をしっかりと行う必要があると感じています。

さて、いつもより長い夏休みが終わり、27日(火)からは、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休みは、「交通事故・水の事故」を心配しましたが、大きな事故もなく、子どもたちが夏休みを過ごすことができたことが良かったと思っています。

また、セカンドステージ初日は夏休み明け朝会を行い、全校児童が一同に会しました。会の中では、2、4、6年生の代表児童が、夏休みの思い出とセカンドステージでがんばりたいことを発表しました。「漢字テストで満点を取りたい。委員会、クラブ活動で先輩の力になりたい。学芸会で良い発表をしたい。」など、セカンドステージに向けてのやる気を感じられ、素晴らしかったです。

### 学校評価結果における教職員自己評価から (○～良い傾向にある項目 ◇～課題)

7月に行った学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果をもとに教職員で自己評価を行いました。その中から学校教育目標について、お知らせしたいポイントをご紹介します。

#### 【まなぶ子】 評価平均-3.14

○良好な評価が見られる。(学習に進んで取り組む姿勢が育ってきている。)

○学習においては、課題を設定することで見通しや目的意識をもつことができ、しっかりと学習に取り組むことができている。

◇給食指導については、今後も継続していく必要がある。

#### 【かかわる子】 評価平均-3.13

○おおむね良好な評価が見られる。(他者との交流を通して学びを深める力に少しずつ育ちが見られる。)

◇挨拶については、教職員個人の判断基準にばらつきが見られ、学校としての共通認識の再確認が必要である。

#### 【つくる子】 評価平均-3.01

○おおむね良好な評価が見られる。(目標に向かって努力する姿勢が育ってきている。)

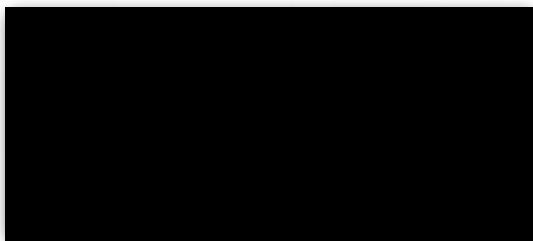
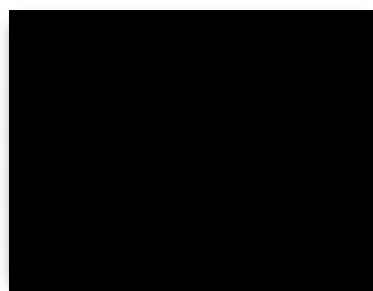
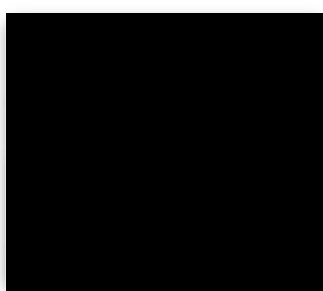
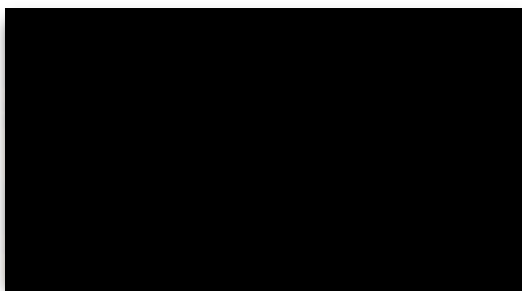
◇規則正しい生活に関して、家庭と連携した取組(生活リズムチェックシートなど)を今後も行う必要がある。

# セカンドステージが始まりました

31日間の長い夏休みが終わり、27日（火）からセカンドステージが始まりました。学校の中には久しぶりに子どもたちの元気な声が響きました。

夏休み中のお子さんの様子はいかがでしたか？ 暑い日が続いていましたが、子どもたちに大きな事故やけが、病気がなくて安心しました。昨年よりも1週間程度休みが延びたことで、今まで以上に普段できないことに挑戦できましたか？ 生活リズムを崩さず、規則正しい生活を送ることができていましたか？ 全校朝会で発表した子をはじめ、休み中にどこかへ出かけたり、少年団をがんばったり、友達とたくさん遊んだり、いろいろな思い出ができたようです。夏休み中の経験、学習を、ぜひ今後の学校生活でも生かしてほしいですね。

セカンドステージ、サードステージと続き冬休み前までの登校日は83日間。その間に、9月で前期が終わります。前期終了時には、子どもたちのがんばりの一つの目安として、通知表を配ります。その時には、ぜひ、たくさんほめてあげてください。成長の様子は一人一人違いますが、その子なりの「伸び」が必ずあります。そして、10月には学芸会。表現力や創造性の向上、集団行動の態度の育成などを目的に取り組んでいきます。行事の取組は子どもたちが大きく成長する機会ですので、ぜひ、ご家庭でも子どもたちへの声かけをお願いします。



## 【9月の行事予定】

2	月	朝会（定例）
3	火	読み聞かせ（2年） クラブ
5	木	ロング昼休み
6	金	4時間授業 体の記録（低）
9	月	4時間授業 体の記録（中）
10	火	4時間授業 体の記録（高） 読み聞かせ（3年）
11	水	クラブ（最終）
13	金	昼の読み聞かせ
16	月	敬老の日
17	火	読み聞かせ（4年） 諸費振替日
19	木	委員会 ロング昼休み
20	金	定時退勤日
22	日	秋分の日 
23	月	振替休日
24	火	読み聞かせ（5年）
27	金	昼の読み聞かせ
30	月	前期終業式（朝会） 定時退勤日

## 砂防ダム見学

夏休み前の7月9日（火）、4年生が砂防ダム見学を行いました。例年実施している砂防ダム見学。砂防ダムを見に行くだけでなく、町内にある十勝岳噴火の影響を受けた土地なども見て回りました。普段何気なく通っている道などに噴火の影響が残っていることを知り、改めて噴火の大きさに驚いているようでした。また、砂防ダムでは、模型による噴火実験を見ることができ、その役割を理解できたようでした。

